

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	株式会社ネイチュアエンタープライズ	北九州みずべ活性化共同事業体
1 指定 管理者 としての 適正 について	<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針 北九州市のシンボル川である紫川において、治水対策と水辺を生かした街づくりを同時に行う都市基盤河川改修事業の一環として整備された水環境館の設置目的を十分に理解し、水環境館のキーワードである「集い」「学び」「憩い」を意識した運営を提案します。</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤 人的基盤:アウトドアや自然体験に精通したスタッフ 970名 財産基盤:モンベルグループ年商75,000,000千円(2017年度) モンベルグループについて ㈱モンベル、㈱ベルカディア、㈱北陸モンベル、㈱ネイチュアエンタープライズ、㈱モンベルホールディングス、モンベルアメリカ・インク、モンベルスイスSA</p> <p>(3) 実績や経験など ・平成19年～ モンベル五條店(五條市所有の国民宿舎閉館後施設) ・平成26年～ 生駒山麓公園(都市公園指定管理) ・平成28年～ モンベル横浜しんやました店(直営店) ・平成30年～ モンベル小倉店(直営店)</p>	<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針 ■水環境館の設置目的や施設の在り方、市の基本方針等の施策を考察・理解したうえで、次の運営理念と基本方針を策定し、管理運営に努めてまいります。 〈運営理念〉「Reborn水環境館」～もつとわくわく体験と学び、ほつと憩いの街中空間へ～ 〈基本方針〉 1.安全・安心の確保 2.利用者の満足度の向上 3.利用者層の拡充と集客力アップ 4.高水準の維持管理と快適な施設環境の提供 5.地域・他施設との連携と社会貢献</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤 ■当団体代表企業は、昭和58年の設立以来、ビルメンテナンス事業と緑化建設事業を中心に事業展開しており、これまでの公共施設の清掃、警備、設備管理、植栽維持管理等の実績による経験やノウハウはもちろん各種資格者などの優秀な人材も有しているため、万全な体制での総合的な管理運営が実現できます。 ■当団体代表企業は、清掃や設備管理などの作業に必要な機器等を保有しているため、初期投資を最小限に抑えるだけでなく、緊急時の場合などフレキシブルで迅速な対応が可能です。 ■当団体代表企業は、平成14年にISO9001の認証を業界に先駆けて取得し、全社を挙げて顧客満足向上と品質マネジメントの継続的改善への取り組みを行なっております。 ■当団体構成企業の会員には、魚類や昆虫などの生物学・生態学や人類学などのトップ研究者、博物館の学芸員、動物園の園長や獣医、水族館スタッフ、写真家、また環境教育や自然学習に携わる専門家が多数在籍しています。 ■当団体構成企業は、自費出版による図鑑や雑誌刊行をはじめ、オリジナル生き物グッズを制作し、独自の販路開拓で販売に力を入れております。</p> <p>(3) 実績や経験など ■当団体代表企業は、指定管理業務として、①平成18年度より志井ファミリープール、②平成19年度より福岡県営中央公園、③平成23年度より北九州パレス、④平成26年度よりグリーンパーク、⑤平成29年度より勝山公園・あさの汐風公園を受託しております。特に福岡県営中央公園においては、これまでに4度のA評価を頂いております。 ■当団体構成企業は、水環境館では高校の部活動時代に開館4か月後から約11年間かかわり、生体展示をスタッフとともに担当。紫川を中心とした50数種の水生生物の常設展示、さまざまなテーマで夏休みなどに11回の企画展を開催しました。現在では、写真展開催や講演会、コラボレーション企画を当施設と展開中です。 ■当団体構成企業は、展示の能力を買われて、専門的な施設である北九州市立いのちのたび博物館の特別展において地元生物調査をもとにした展示を依頼された実績があります。</p>

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体	北九州まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体
1 指定 管理者 としての 適正 について	<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針 ■本市の、環境保全政策を理解し、北九州市SDGs未来都市計画へ、水環境館の設置目的を推進します。 ■北九州市の環境政策や街づくりを推進していくため、共同企業体の5つの理念を掲げ、指定管理業務テーマ「川と人と街」がつながり、真に豊かな社会を拓く、流心となる施設を目指す。掲げます。 ■指定管理業務を推進する5つの基本方針を掲げます 1.入館者・利用団体の充実した活動、憩いの場を提供できる施設づくり 2.利用者・利用団体第一主義の施設づくり 3.効率的、効果的なマネージメントの推進 4.地域・他施設・団体との連携強化 5.平等・安全・安心の施設づくり</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤 ■共同企業体は、水環境館の管理を推進する有為な人材を有しています。また施設運営を支えるNPO、企業、教育団体、全国組織等とのネットワークを構築しています。 ■共同企業体を構成する3社は、毎年安定した経営利益を計上しており、共同企業体の財政基盤は良好安定しています。</p> <p>(3) 実績や経験など ■共同企業体は平成19年度より北九州市立玄海青年の家指定管理業務を受託し、現在、かぐめよし少年自然の家(平成29年度)もじ少年自然の家(平成25年度)ユーザーステーション(平成28年度)の4施設を管理運営させていただいております。 ■共同企業体は類似施設の指定管理業務、委託業務の経験を多数有しています。</p>	<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針 【理念】平成28年2月に公表された『小倉城周辺魅力向上事業基本計画』で設定された3つのゾーンのうち、市民の憩いと交流ゾーンにおいては、勝山公園のにぎわい強化とともに、「水環境館のリニューアル」によるにぎわい・交流拠点の整備があげられている。小倉城周辺一体の魅力向上によって水環境館への集客力を高めるとともに、北九州市民のシビックプライドを高めて「地域力」の向上を促進する。そのため、ヒト・モノ・コトを通じて新たな「つながり」をつくり、育まれた郷土愛によって、ますます魅力が増す施設づくりを進めていく。 【基本方針】その理念の実現のために、共同事業体を結成し5つの基本方針をたて運営していく。1)魅力の最大化と発信力の向上。2)利用者の満足度向上に資するおもてなし力の強化・改善。 3)北九州市民のシビックプライドの醸成。4)地域ネットワークの利活用。 5)徹底した安全・安心の管理運営。</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤 【人的基盤】北九州まちづくり応援団・朝日広告社 共同事業体は、北九州まちづくり応援団・朝日広告社の共同事業体で、まちづくり事業や各種プロモーション、広告宣伝活動、施設管理などの専門家で構成された事業集団です。まちづくり応援団のこれまでの「水環境館・小倉城・庭園」運営管理の経験と実績に加え、更にインバウンド対応などの環境変化にも対応し、的確な情報発信による集客、施設を含むゾーンのブランディング力を向上させる為に、専門的知識・スキルを持った団体と共同で推進していく。 【財政基盤】代表団体である北九州まちづくり応援団は、これまでの3期に渡る指定管理運営の中で黒字体質を維持できるようになった。その結果として、次の指定管理運営のためのキャッシュフローは確保できている。共同事業体を構成する2社の資本金の単純総和は1.82億円、現預金は8億円超であるが、それを背景にしたながらも、その資金に頼らず、確実に収益が上がり、プラスの循環がまわる仕組みを構築する。具体的には、入場料、キッチンスペースを活用した事業、新たな有料企画などで収入を確保していく。</p> <p>(3) 実績や経験など 北九州まちづくり応援団は、指定管理業務がスタートした平成18年4月から、水環境館/小倉城/小倉城庭園を3期13年に渡り、運営管理してきた。水環境館については、多種イベントを積み上げながら、教育の場としての機能を追及してきた。入場料無料とはいえ、常に16万人を超える入場者を迎え入れてきた。朝日広告社は、これまで北九州市をはじめ、地元団体からの委託を受け、多種多様なプロモーションやブランディングを手がけ、十分な実績をあげてきた。</p>

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	株式会社ネイチュアエンタープライズ	北九州みずべ活性化共同事業体
2・管理運営の適確性	<p>【有効性】に関する取組み</p> <p>(1) 施設の設定目的の達成に向けた取り組み ・紫川流域でのアウトドアイベントの企画、開催 ・水環境館展望ギャラリースペースでアウトドアセミナーの開催 ・アウトドア用品の展示によるにぎわいづくりの提案</p> <p>(2) 利用者の満足度 ・利用者に対して「アンケート」を行い、意見把握に努めるとともに施設運営向上に役立てます。 ・苦情対応は、お客様の信頼が再び得られるよう誠意を持った対応を心がけます。 ・アウトドアアクティビティをより快適に楽しんでいただくために水上ステージやシャワーブースを有効に活用します。</p>	<p>(1) 施設の設定目的の達成に向けた取り組み ■管理運営の理念や基本方針を踏まえて、次にあげる1～5の具体的な取り組みを推進します。 1.学ぶ:水環境館発の自然学習・環境教育などの学びの拠点 2.体験する:カヌーやさまざまなスタイルで紫川などの自然を体感 3.憩う:まちなかでホッと憩うことのできる空間 4.発信する:積極的な自然情報発信拠点 5.共生を考える:SDGs推進・生物多様性保全を考える拠点の一つへ ■さらに上記の取り組みの際は、「つなげる」「広げる・深める」の2点を念頭に置いて進めます。 ■最低限度の要求水準である入場者数180,000人を超える184,000人(5年平均)を目指し、これまでの公的施設の管理運営経験によるスキルを駆使して、目標を達成します。 ■企画展示や自然体験・自然学習、カヌー体験、川流れ体験、無料Wi-Fiやカフェ・セレクトショップの設置、水上ステージを利用した憩いと賑わいの空間、館内の大型液晶モニターを利用した自然・環境ドキュメンタリー映画の上映など、様々な取り組みを通して利用者増と利便性向上に努めます。 ■ホームページのリニューアルに伴い、市と協議のうえ、現代社会における、更なる利便性向上の取り組みとして、ウェブアクセシビリティへの取り組みを検討します。 ■リニューアル・オープンを最大の好機と捉え、案内フライヤー(チラシ)の配布や掲示、SNSの活用など、広報力を強化し、利用促進と集客力のアップに努め、多彩なツールを活用した、積極的かつ包括的な広報活動ができる体制を築きます。 ■定期広報誌である「水環境館便り」をブラッシュアップし、水環境館ならではの情報提供をこれまで以上に推進していきます。</p> <p>(2) 利用者の満足度 ■利用者が居心地良く快適に過ごせるよう「安全・安心・快適」を最優先に確保しつつ、「選択と集中」の観点に基づき、現状を踏まえながら、より効率的で効果的な管理運営を目指します。 ■アンケートの実施やご意見箱の設置などにより、利用者の意見や要望を積極的に収集し、ニーズとウォンツの把握と施設管理の改善につなげます。 ■利用者からの意見はPDCAサイクルに基づき、「分析・評価、検討、具体策立案、実行」を実践することで、継続的改善を図ります。 ■利用者からの苦情については、迅速かつ誠意を持って対応し、改善策と苦情の未然防止と再発防止に努めます。 ■利便性とサービス向上のため、多彩なツールでフレッシュな情報提供に取り組みます。 ■ホスピタリティ溢れる接客サービスとおもてなしの精神で、利用者にとって気持ちの良い環境づくりに取り組みます。 ■利用者目線による充実したサービスの提供に向け、利用者の貴重な意見を吸い上げ、問題点を改善していくことで、行きたくなる、行ってみたくなる、魅力ある施設づくりを構築いたします。</p>

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体	北九州まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体
2・管理運営の適確性	<p>【有効性】に関する取組み</p> <p>(1) 施設の設定目的の達成に向けた取り組み ■管理運営に関わる明確な目標設定とその適正な改善を行います。そのため、15の管理運営方針と実施策(アクションプラン)を掲げます。 ■学校・企業等、利用団体の入館目標を最優先にした公平等利用に基づく受入れ事業を実施します。プログラムには適正な職員を配置し、展示物を使ったインターアクトや、紫川でのカヌー体験など、館内と河川空間を結び付けた新しい活動を展開します。 ■提案事業は、学校・市民センター等へのアウトリーチ(講師派遣)や水環境館オープンディ「あそびにおいてよ!紫川・川の駅」紫川の河川清掃事業「クリーンアップ紫川!カヌー100隻大作戦」等を開催します。 ■水環境館で活動するボランティア養成事業をスタートし、環境教育や人づくり、館内事業に関わる市民を募集し、活動の場を提供します。 ■自主事業は、河口域でのカヌーやEポート体験、中流域長行地区での、生き物探し。源流域での夏季キャンプ等を開催します。 ■川の活動に関わる指導者養成事業をスタートします。川の指導者や環境教育、カヌーの指導者を育成し、河川自然体験活動をけん引する市民を育成します。 ■プログラム開発は1.コミュニケーション能力の向上 2.環境教育 3.安全教育的の3つの柱に体験学習法の手法を使い、教育的効果の高い魅力的なプログラムを開発します。 ■2023年度利用者目標、延人数200,000人を目指し、施設管理手法を駆使して目標を達成します。 ■利用者増加にむけ、ホームページやチラシ・ポスター等の紙媒体を駆使し、総合的な広報活動を強化して利用促進を強化します。 ■広報宣伝力の強化のため、SNSを利用しリアルタイムな情報発信を行い、利用者への様々な施設利用に関する情報提供を推進します。</p> <p>(2) 利用者の満足度 ■利用者の声を施設管理に生かすため、アンケートや職員の聞き取り調査を行い、PDCAサイクルを用い速やかに施設管理の改善につなげます。 ■利用者からの苦情に対し、真摯な態度で対応すると同時に、その苦情に対し速やかに謝罪・改善を実施します。そのため苦情解決マニュアルを策定します。 ■当施設の利用者サービス向上を図るため、プログラム開催時に企業体の教育資料やマイクロバスなど提供、また予算化による用具購入を行い、多様な活動が可能な施設を目指します。 ■エレベーターや障がい者用トイレ、また赤ちゃんの駅等、誰もが快適に利用できる施設としてホームページで施設利用に関する情報を発信します。 ■誰もが快適で安心して滞在できるよう、常に施設内を清潔に保つようクレンネスに努めます。</p>	<p>(1) 施設の設定目的の達成に向けた取り組み 5つの基本方針のもと、施設をとりまく環境や課題を見つめ、それぞれ基本施策を設定し、複合的な取り組みによって施設の魅力を最大化していく。内容の一部を下記する。 【周辺一帯の魅力向上】周辺一帯の魅力向上を図ることで、水環境館にも来てもらい、川を知ってもらい、我がまちに誇りを持ってもらう。街のにぎわいづくりの中核施設としての役割を果たす取り組みを強化していく。 【くつろぎ空間への進化】施設情報の効果的な発信の工夫、外国人にもきてもらえるようなサービスを充実させる。例えば、手荷物預かり、充電サービス、Wi-Fi環境サービス他、利用者の利便性を図る。 【インバウンド集客強化施策】北九州の水環境改善の歴史を学ぶ場として、新たに整備し、その、情報の発信による小倉への興味喚起・旅行促進を図る。</p> <p>(2) 利用者の満足度 引き続き、来館者アンケートを実施し、満足度90%以上を目指し、来館者の生の声を積極的に載けるよう日々努力していく。その意見を反映する仕組みとして、新たにサービス向上会議を定例開催し、関係者で現状を共有すると共に、サービスのクオリティ向上に向けた対策を実施する。来館者からの苦情に対しては、苦情発生時に施設スタッフが迅速な対応ができるよう対策マニュアルを作成する。更にスタッフのレベルアップのための研修カリキュラム作成を進める。</p>

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	株式会社ネイチュアエンタープライズ	北九州みずべ活性化共同事業体
2. 管理運営の適確性	<p>【効率性】に関する取組み</p> <p>(1) 指定管理料及び収入 入館料は利用者サービスの継続性から引き続き無料とします。 アウトドアイベント及び自動販売機収益の一部を指定管理料減額に充当します。</p> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 支出は従来の実績額を勘案し施設改修を考慮して設定しております。 (消費税増税は考慮していません。)</p>	<p>(1) 指定管理料及び収入 ■市民のサービス向上と経費の削減という、一見すると相反する要素を実現させるため、経費削減を推進する項目と、経費の充実を図る項目とを区分した収支計画を立てております。 ■当団体はこれまで公共施設などの施設管理運営に積極的に携わってきた実績があるため、特殊な技術が必要とする業務以外は再委託費に頼らない、内製による運営が可能です。 ■作業に必要な機器類をはじめ、多数の経験豊富かつ即戦力のある人員をも確保している点など、当施設の維持管理におけるほぼすべての業務を自前で実施できることから、初期投資を最小限に抑えつつ、高品質な維持管理と支出コストの低減の両立も実現いたします。 ■スタッフのマルチジョブ化(多能化)により、効率的な人件費の運用を実現します。 ■廃棄物の減量や、節電・節水・モノを大切にするなど、省エネと環境への意識向上を図ります。 ■当施設は、市民にとって無料であることが定着していることから、入館料は現行の通り料金をとらない無料化の継続を提案します。一方で『水環境館』での取り組みを展開するうえで、有料事業の可能性を意識しつつ、様々な事業を企画し実施して参ります。 ■カフェとセレクトショップの運営やカヌー体験などの体験事業、観察会をはじめとする自然学習事業などの野外活動での参加費徴収、水上ステージやデッキを使った門司港地ビール連携企画の夏季限定「川ビアテラス」、春・秋の「川カフェ」、紫川シネマなど来場者増加と収入の確保に向けた取り組みを行ないます。</p> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 ■これまでの実績と経験から、堅実な収支計画を立案しており、実現性の高い予算編成となっています。 ■提案事業(カフェ含む)による収入においては、当団体のこれまでのイベント運営実績による指標を基に計画し、期待値などによる過度な見込みとならないよう、妥当性に配慮しております。 ■支出については、収入と同様、これまでの当施設での経験と実績が指標となっており、過度・過小なものとならないよう適正かつ堅実な積算を行なっております。 ■経費低減の取り組みについては、初年度はできるところから、施設の状況や利用特性を把握できた2年目以降は抜本的および細部の削減策を実行いたします。 ■できるだけ内製化を図りますが、機械管理や定期点検等の専門的技術が必要とする業務、再委託とする方が効率的な業務などについては、業務の再委託を行ないます。</p>

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体	北九州まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体																														
2. 管理運営の適確性	<p>【効率性】に関する取組み</p> <p>(1) 指定管理料及び収入 ■利用者サービスの向上と経費削減を両立させるべく、費用対効果の向上を目指します。 ■充実させる経費と費用削減を進める経費を区分した経費運用を行います。 ■これまでの経費縮減実績に基づいたさまざまな施策により、効率的な運営を実現します。 ■共同企業体本部のバックアップにより、指定管理料だけでは実現できないサービスを提供します。 ■職員の待遇を整備し、安心して勤務できる環境を構築します。 ■当共同企業体が管理する他の青少年施設職員との連携を進めます。 ■収入確保のため、様々な事業を展開します。紫川のポテンシャルを活かした魅力ある活動を市民へ提供します。 ■自主事業で発生した収益は、指定管理業務へ充当し、施設サービスの向上へ役立てます。</p> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 ■これまで当市の施設を管理してきた実績と、共同企業体を持つ豊富なデータから収支計画を立案しており、実現性の高い予算となっています。 ■人件費は優秀な人材確保のため充実した予算としてします。給与水準については各種統計データと照らし適正な金額としており、安心して働ける職場とします。 ■各種規定を作成して厳格な予算執行体制を実施し、適正な運営を行います。 ■正確な計数管理と多重チェック体制の構築により運営状況を的確に把握して、スピーディーな運営に繋がります。</p>	<p>(1) 指定管理料及び収入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H31年</th> <th>H32年</th> <th>H33年</th> <th>H34年</th> <th>H35年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入場者数(人)</td> <td>80,000</td> <td>85,000</td> <td>90,000</td> <td>95,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>管理運営費(千円)</td> <td>30,888</td> <td>30,132</td> <td>29,592</td> <td>28,836</td> <td>28,620</td> </tr> <tr> <td>使用料収入(千円)</td> <td>7,886</td> <td>8,380</td> <td>8,916</td> <td>9,411</td> <td>9,942</td> </tr> <tr> <td>指定管理料(千円)</td> <td>24,000</td> <td>23,000</td> <td>22,000</td> <td>21,000</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 【収入見込みにおける計画】 まちづくり応援団様を中心とした共同事業体のこれまでの経験と実績から算出し、実現性の高い数値と考える。乗客のノウハウや創意工夫を最大限発揮することで、収入の確保に努める。 【支出見込みにおける計画】 まちづくり応援団様を中心とした共同事業体のこれまでの経験と実績が指標となり、それが積算根拠に結びついている。内部取り込みによる費用削減、費用対効果の徹底検討など進める。</p>	項目	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	入場者数(人)	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000	管理運営費(千円)	30,888	30,132	29,592	28,836	28,620	使用料収入(千円)	7,886	8,380	8,916	9,411	9,942	指定管理料(千円)	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000
項目	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年																											
入場者数(人)	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000																											
管理運営費(千円)	30,888	30,132	29,592	28,836	28,620																											
使用料収入(千円)	7,886	8,380	8,916	9,411	9,942																											
指定管理料(千円)	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000																											

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	株式会社ネイチュアエンタープライズ	北九州みずべ活性化共同事業体
2. 管理運営の適確性	<p>【適正性】に関する取組み</p> <p>(1) 管理運営体制など 管理責任者1名を含む4名の運営体制とし、市の担当部署及び、関係者との連絡調整等が可能なスタッフが必ず1名常駐します。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など 平等利用について ユニバーサル社会の実現として、年齢、性別、障がいの有無、国籍などを問わず、ダイバーシティの視点にたち、誰もが安全で快適な利用ができる施設を目指します。</p> <p>安全対策について 施設内の整理整頓・定期点検と維持修繕に努め、スタッフによる施設内巡回を実施し、利用者の安全確保に努めます。</p> <p>危機管理体制について 事故や緊急時の連絡体制は、北九州市担当課はもちろんのこと、所轄の警察、消防とも密接な連携を図るようにします。</p>	<p>(1) 管理運営体制など ■当団体から構成されるサポートチームによって、現地のバックアップを行なっています。</p> <p>■管理事務所を常時2名以上の体制とし、「マルチジョブ化」を推進するとともに、緊急時の場合は団体本部から現地に派遣いたします。</p> <p>■統括責任者には、当団体構成企業の法人会員である当施設の現館長を予定しています。また、副館長(館長補佐)は、当施設および生体管理に詳しいNPO法人 北九州・魚部から選任します。</p> <p>■当施設に関わる職員全員に、「接遇研修」「救命講習」の受講を義務付け、きめ細かな心遣い、緊急時の迅速な対応、個人情報保護や平等利用など法令を遵守した対応等、様々な役割を幅広く行えるよう教育いたします。</p> <p>■接遇研修の実施や、各種資格などの取得支援など、職員の資質向上に取り組みます。</p> <p>■これまでの管理運営で培った、地域・学校・関係団体・関連施設などとの連携や協働をさらに強化し、様々な取り組みを行ないます。</p> <p>■「SDGs未来都市」の実現を目指す北九州市の取り組みに、水環境館としても生物多様性保全や人と自然のかかわりの面から貢献していきます。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ■北九州市個人情報保護条例およびその他関係法令を遵守し、改正個人情報保護法にも対応した、プライバシーポリシーや個人情報保護規程を制定したうえで、個人情報の厳重な管理と適切な取り扱いを行ないます。</p> <p>■施設の設置目的や役割を十分に認識し、誰もが気軽に施設の利用及びイベントへの参加ができるように、公共性(公益性)を確保して参ります。</p> <p>■接遇などの教育研修による職員への意識啓発に努め、中立性を堅持する管理運営をいたします。</p> <p>■人権啓発推進に努め、不当な差別的取り扱いのない施設運営に取り組みます。</p> <p>■高齢者や障がいのある方、小さなお子様、外国人など、多様な方々への配慮に努め、誰もが利用しやすい環境づくりに努めて参ります。</p> <p>■プリメンテナンス(予防保全)を徹底し、あらゆる事故の未然防止と、機械設備の長寿命化に取り組み、「安全・安心・快適」に利用できる施設づくりに努めます。</p> <p>■生体水槽は、日常点検のほか、適宜、淡水魚及び機器の知識を有する者が直接点検と水槽の清掃を実施し、各水槽の水質管理及び、魚種ごとの飼育・繁殖を適切に行なうことで、生態系の保護と観察・調査に寄与いたします。</p> <p>■飲食を提供することから、病原性大腸菌(O-157)やサルモネラ菌などの「細菌性食中毒」には十分注意し、スタッフには食中毒予防の3原則など衛生に関する啓発・教育・指導を行ないます。</p> <p>■「安全管理マニュアル」を作成し、事故発生時の迅速な対応を可能とするとともに、「災害対策マニュアル」と「災害対応マニュアル」を作成することで、災害発生時の危機管理体制の明確化と対応方法の明確化に取り組みます。</p>

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体	北九州まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体
2. 管理運営の適確性	<p>【適正性】に関する取組み</p> <p>(1) 管理運営体制など ■指定管理期間、3ポスト・6人体制とし、施設運営を行います。また必要に応じて、企業体からの人員派遣も行い安全安心、魅力的なサービスの提供を目指します。</p> <p>■職員は施設の管理能力を有した人材を配置します。環境施設運営に習熟した現在の職員を配置することで、安定した管理が可能です。</p> <p>■職員の資質向上のため、計画的、定期的に研修を行います。全職員が身につけるべき研修目標、取得すべき資格を明確にして職員研修を実施します。</p> <p>■地域との連携については、施設周辺の店舗や、企業、団体、学校へ施設活動の協力を仰ぎます。そのため、地域との連携を図る、「水環境館協議会」を設置し、利用者利用団体からの意見を施設管理に反映させます。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ■北九州市個人情報保護条例を遵守した個人情報保護に対する具体的な取り扱いを行います。</p> <p>個人情報とは、職員研修を実施し取り扱いマニュアルに沿って管理します。</p> <p>■利用者利用団体へ公平で平等なサービス提供に向けた二つの基本方針を掲げ、人権尊重のための職員研修を継続します。</p> <p>■障害者基本計画、障害者差別解消法を理解し、不当な差別扱いの禁止、合理的配慮の提供を遵守し徹底します。</p> <p>■福岡県暴力団排除条例等の関連法令に基づき、公の施設から、暴力団の利益となる利用を排除、また利用拒否を徹底します。</p> <p>■危機管理については日常業務の安全管理を基本とし、プログラム提供時、施設整備、職員トレーニング、食中毒、病気対策等に対応するマニュアルを作成し、年1回の安全大会や日々の会議において安全管理研修を実施し、安全安心の施設・プログラム提供を実現します。</p> <p>■事故発生時の緊急対応マニュアルを作成し、利用者の安全を優先的に確保すると同時に、リスク低減対策、回避行動を迅速に行います。また事故の原因を究明し、事故の再発防止に努めます。</p> <p>■北九州市地域防災計画に基づき、防災時のための対応策は職員研修を徹底し、非常時にスムーズな対応ができるように訓練します。また迅速に対応できるマニュアル整備を実施します。</p> <p>■水環境館は河川に隣接し、かつ地下に位置するため、洪水やゲリラ豪雨に対応する浸水対策訓練を実施し、災害時に速やかに行動できるよう努めます。</p>	<p>(1) 管理運営体制など</p> <div data-bbox="874 1377 1444 1758" data-label="Diagram"> </div> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など 以下のしくみ構築と確実な実施を進める。 ・プライバシーポリシー(個人情報保護方針)の制定。 ・公共性(公益性)の確保。 ・予防保全の徹底。 ・事故災害発生時の迅速な対応。</p>

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目		株式会社ネイチュアエンタープライズ	北九州みずべ活性化共同事業体	玄海グリーン&アドベンチャー 共同企業体	北九州まちづくり応援団・朝日広告社 共同事業体
指定 管理 料	H31	24,570千円	24,994千円	24,812千円	24,000千円
	H32	24,570千円	24,883千円	24,713千円	23,000千円
	H33	24,570千円	24,770千円	24,485千円	22,000千円
	H34	24,570千円	24,696千円	24,544千円	21,000千円
	H35	24,570千円	24,686千円	24,522千円	20,000千円
	平均	24,570千円	24,806千円	24,615千円	22,000千円